

担当者の思い



武藤さん

いつでもどなたでも気軽に使ってください！
共働きも多い松江。夜遅くにしか時間がとれないことも多い。
相談できなくて困ったり、悩んだりすることを少なくしたいし、
ワンオペ育児の負担軽減、仕事と家庭の両立の助けになればと思っています。

このコンシェルジュの良さは欲しい情報、しかも松江の情報にたどり着きやすいこと。
ネット検索すると情報が多すぎて時間がかかったり、他地域の情報だったり。
自分でも試してみたら、知らなかった近場の遊び場を発見できました。
そんな使い方もできると思います！



池田さん

松江市民が育てる「AIコンシェルジュ」

このコンシェルジュ(相談)事業は、AI技術をつかったものです。ご存知のように、AIは学習し対応力が向上します。事業のスタートにあたり、市や関係機関の行政情報をはじめ、これまで保健師に寄せられた相談や、市周辺の遊び場、先輩保護者さんからの意見も参考に、子育て世代が欲しい情報を多分野・多種・多数インプットしています。ですが、多様な相談や言葉の判断についてはまだ発展途上。相談件数が増えるほどに精度も上がり、対応に必要な情報量も増えていきます。まさに、市民が育てる、市民と育つ「まつえの子育てAIコンシェルジュ」!

どんどん活用して、次の子育て世代へもつないでいきましょう!

この事業が生まれた背景

子ども子育て支援制度ニーズ調査(令和元年、就学前までの子をもつ無作為抽出した4,000名対象で実施)の調査結果から、子育て支援に関する制度の存在もあまり知られていないことや、「相談窓口が分からない」「初めての子育てで誰にも相談できない」などの声が多く、情報発信の必要性が高いことがわかりました。また情報入手の手段としてSNSが上位だったことから、SNSのなかでもスマホユーザーの利用率が高いLINEで情報発信することを立案。同年に行われた市の中堅職員の「選ばれるまちまつえの実現に向けた人材育成ワーキング」で企画を練り上げ、予算も国から獲得するなどして事業化にこぎつけました。松江を本気で良くしたい!という熱血ワーキングから生まれた事業第一号です。

LINEを使った24時間365日対応の子育て相談「まつえの子育てAIコンシェルジュ」

2021年4月から、LINEで手軽に子育ての疑問を相談できる「まつえの子育てAIコンシェルジュ」がスタートします! 自分の時間に合わせて利用できるし、相談先がない・分からないときも、LINEでトークする感覚で使えるから便利。使い方を、市担当課にお聞きしました。

案内役 / 松江市子育て政策課 Tel(55-5032) 武藤さん&池田さん **取材** 中村

使い方

Step1

まずは、LINEに友だち登録

こちらから登録! >>>



Step2

相談したいことを入力する

POINT 単語や短めの文章で入力する方が得たい情報にたどりつきやすいです。

例1 子どもが熱を出した

症状を入力することで病院に行った方がいいかどうか、の目安がわかります。

例2 おむつ替えできるところを探す

まいぶれの赤ちゃんほっとルーム「登録施設をさがす」の画面から近くのおむつ替えスペースが検索できます。

- 担当課では「誰がどんな相談をしたか」などの個人情報収集しません。
- 「救急車を呼んで欲しい」などと書き込んでも、誰が入力したかを特定できないため、緊急の手助けなどには利用できません。
- トーク(相談)内容が、ほかの登録者に知られることはありません。